

私たちの手で支えあいの地域をつくる

▷問い合わせ 芦屋町社会福祉協議会
(☎222-2866)

—芦屋町のボランティア団体紹介シリーズ6 「あしの会」—

町内では、「芦屋町手をつなぐりボンの会」というボランティア団体が活動しています。その中に6団体が所属しており、さまざまな分野で活動しています。今回は「あしの会」を紹介します。

あしの会 (結成して33年)

- ◆活動内容 福祉施設で利用者の話し相手や、行事のお手伝いをしています。
- ◆活動場所 町内の福祉施設など
- ◆活動日時 依頼に応じて活動
- ◆活動人数 11名
- ◆活動に込めた思い

結成当時は介護保険制度が施行されておらず訪問介護サービスがなかったため、芦屋町社会福祉協議会と協議しながら高齢者宅をボランティア訪問して家事のお手伝いをしたり、健康チェックをしたりしてきました。

介護保険制度の施行や新型コロナウイルス感染症の流行などにより、少しずつ活動スタイルを見直してきましたが、「真心こめて、一人の人を大切に」をモットーに活動を続けており、高齢者の満足そうな笑顔と心からの「ありがとう」が何よりの励みになっています。

【活動レポート】

あしの会は、平成12年に介護保険制度が始まる前から芦屋町の在宅福祉をボランティアの立場で支えてきた歴史があり、福岡県からも感謝状が贈られています。

取材をした日は、社会福祉法人孝徳会「リカバリーセンターひびき」でもちつき会のお手伝いをしており、皆さん笑顔でつくたての餅を丸めていました。代表の松尾シズ子さんは、「これからも人と人が交わる温かなまちづくりに貢献したい。」と話してくれました。



リカバリーセンターひびきで
もちつき会のお手伝い



社会福祉協議会にタオルを寄贈

あしの会の活動に興味がある人、見学・入会をしてみたい人は、芦屋町社会福祉協議会に連絡してください。

芦屋歴史紀行

その三百五十九

今年の大河ドラマは、豊臣秀吉の弟、豊臣秀長が主人公です。では、豊臣秀長が生きた時代の芦屋はどうだったのでしょうか。今回から、3回に分けて紹介します。初回は、戦国時代の芦屋を説明する前に、中世の芦屋を考える上で重要な、山鹿荘とこの地を治めた山鹿氏・麻生氏を紹介します。

●山鹿荘とは

山鹿荘は、奈良時代ごろまでに観世音寺（太宰府市）の荘園として成立したとされます。室町時代の資料によると、山鹿荘の範囲は、現在の芦屋町、水巻町、八幡西区、八幡東区、戸畑区にまで広がる地域でした。

●山鹿荘と麻生氏の誕生

平安時代末期、山鹿の地を治めていたのは、山鹿兵頭次秀遠でした。しかし、秀遠は平家とともに、壇ノ浦の戦いで敗れ、歴史の舞台から去ります。

その後、山鹿荘は、鎌倉幕府の直轄領となり、地頭には、源頼朝の側近であった一品房昌寛が命

ぜられます。その後、昌寛から地頭職を譲られたのが、宇都宮家政です。家政は、治める地名を姓とする当時の風習に習い、「山鹿ノ家政」と名乗るようになります。そして、家政の孫である資時が分家し、麻生氏が生まれました。

●南北朝の内乱と麻生氏の台頭

鎌倉幕府の滅亡、続く南北朝時代は、九州でもさまざまな戦いが起こり、山鹿・麻生一族の中でも、敵味方に分かれて戦う場面がありました。この内乱の中で、本流の山鹿氏と庶流の麻生氏との、勢力逆転が起こります。

決定的となったのは、南朝方・後醍醐天皇から鎮西大將軍に任命された懐良親王と、北朝方・足利尊氏から九州探題に任命された一色氏の戦いでした。さらに、北朝の中で、尊氏と対立した弟・足利直義の養子・足利直冬が九州に逃れ、挙兵します。これによって、九州は三つ巴の戦いとなり混乱します。麻生氏は尊氏方の一色氏に従い戦いますが、山鹿・麻生一族の中には、懐良親王や直冬に味方するものも出ました。このとき、



城山（山鹿城は山鹿秀遠の城跡として有名ですが、その後の麻生氏にとっても重要な拠点となりました）

懐良親王に味方した山鹿氏の土地は、尊氏によって取り上げられ、のちに麻生氏へ与えられています。九州での戦いは、途中、一色氏が敗走したこともあり、長く続きます。最終的には、足利義満によって新たに九州探題に任命された今川貞世が勝利し、それに従った麻生氏は、義満によって戦功を賞されました。この戦いには、貞世に従い大内氏も参加しており、このころから、麻生氏と大内氏の間が強まっていったと考えられます。これ以降、応仁の乱の中で存在感を強めた大内氏とともに、麻生氏も北九州での勢力を増していったのです。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼今号は遠賀郡・中間市合同企画としてごみをテーマに特集記事を作りました。取材を行う中で、リサイクルできるものをお金を払って捨てているのは、もったいないことだと感じました。この特集が、日常生活で分別やリサイクルを行うきっかけとなってくれたら嬉しいです。

（伊藤）

▼今号のまちのわだいに掲載していますが子育て支援センター「たんぽぽ」の豆まきに取材に行きました。豆まきは大盛り上がりで、こどもはもちろん大人も楽しいイベントでした。たんぽぽの情報は、くらしの情報に「たんぽぽコーナー」として掲載しています。遊びに行ってみてはどうでしょうか。

（篠塚）

▼11ページのまちのわだいに古印づくりの記事を掲載しています。芦屋町の小中学生は、卒業記念でこのような体験ができて、とてもうらやましく思います。一般の人向けの古印づくり講座も開催予定です。参加してみたいかがでしょうか。

（手塚）

